

ばんこけい
(2) 万古溪県自然環境保全地域 (昭和49年7月18日指定)

○所在：甘日市市虫所山 ○面積：64.10ヘクタール

この地域は、小瀬川の水源の一つである支流、七瀬川が地質の境界帯に刻んだ深い峡谷で、通称「万古溪」と呼ばれています。

峡谷の両岸には、優れた植物相が見られ、一体となって深山幽谷ともいふべき南画的風景を展開し、良好な自然環境を形成しています。地域の核をなす溪谷は延長700メートルにもおよび、激しく蛇行しています。そこには、奇岩、巨岩、岩峰などが複雑にかみ合い、落差20メートルの本滝と10メートルの上滝で二段滝を構成しています。滝壺左岸では、高さ100メートルのおよぶ垂直な断崖が見られ、見事な溪谷美を見ることができます。溪谷をはさんで異質な地質が接触するため、両斜面を覆う植物相は明瞭に区分されており、希少な存在として学術的には価値の高いものです。

左岸は、尾根のアカマツ林、谷部の落葉広葉樹林に大別でき、樹高はおおむね20メートルに達しています。河床に近い緩斜面では、陽光を受けてウラジロガシ、アラカシが見られます。右岸は、樹高10メートル以下の乾燥に強いアカマツ、コナラが主体を成しています。河床には、ツルヨシ、カワヤナギなどの群落が見られます。特に、上流域に樹高約8メートルのコウヤミズキ群落が2ヶ所あり、貴重な存在となっています。

植物相が豊富であるため、木の実を餌とする小鳥類の渡来地となっています。

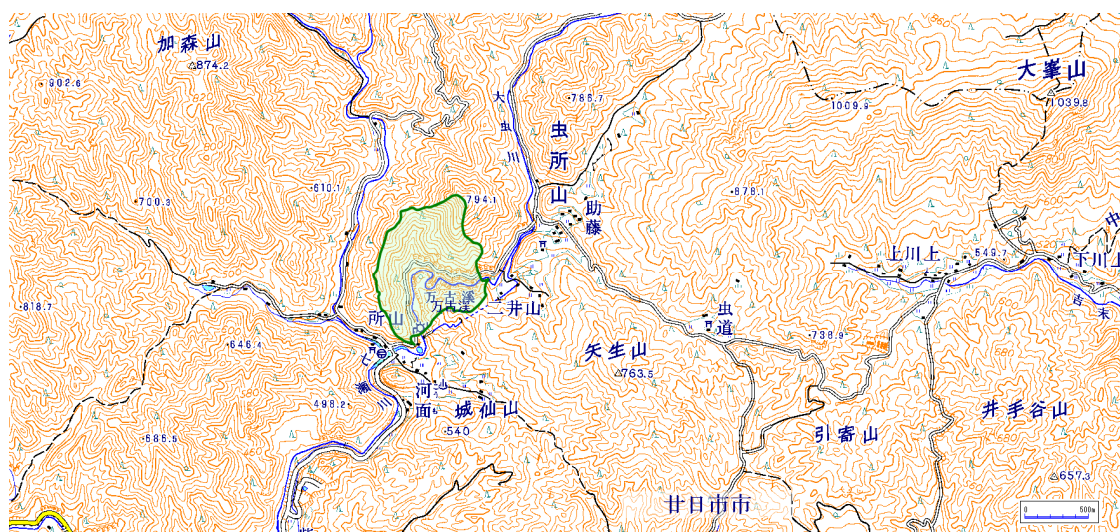
また、その他野生動物の生息、繁殖域として知られており、溪谷は、アマゴ、ムカシトンボの生息域となっています。この地域は、溪谷を中心として急斜面をなすため、比較的自然性が保たれ、広島市近郊にはまれな自然景観の残存地です。



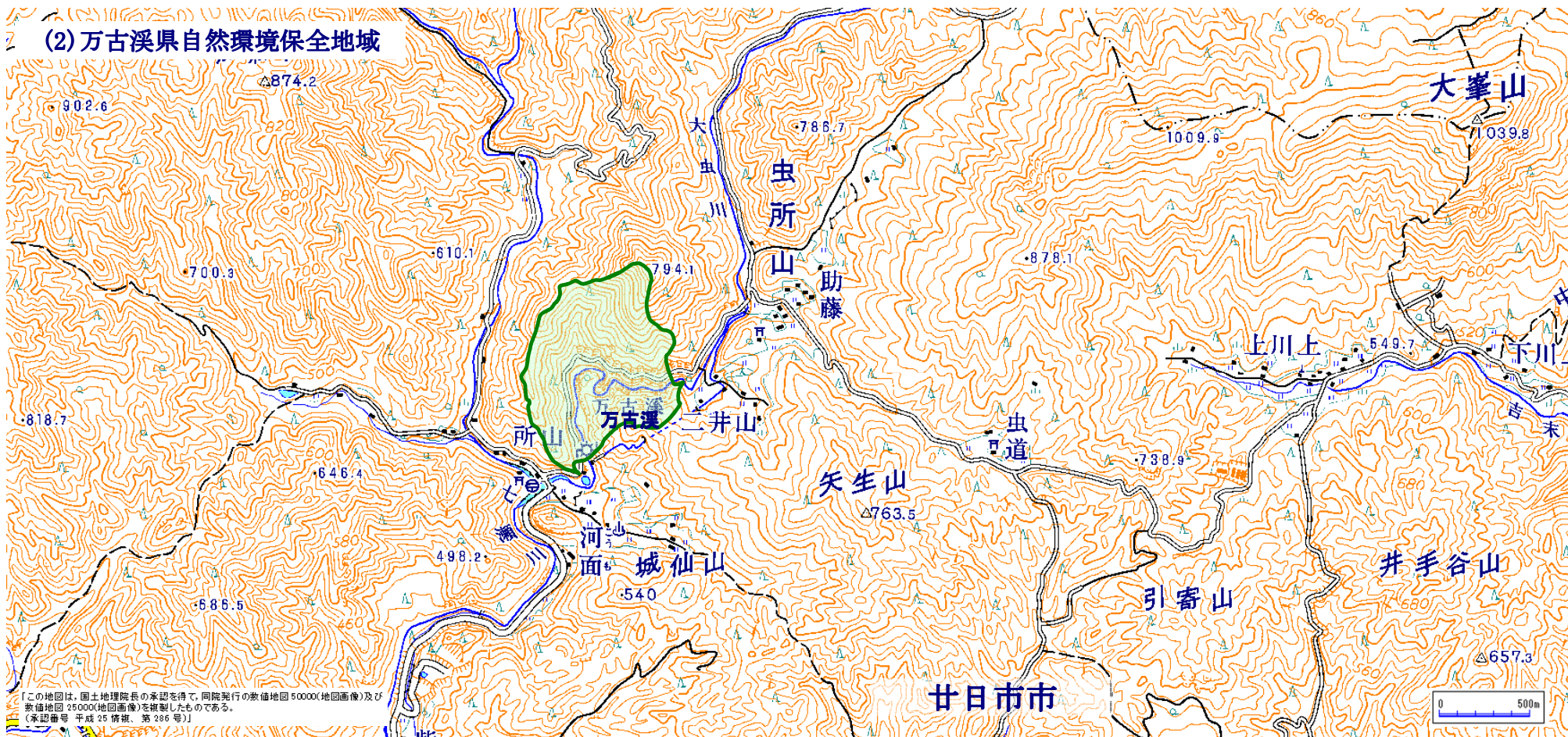
大滝



尾根のアカマツ林



(2) 万古溪県自然環境保全地域



【この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
(承認番号 平成25 情保、第286号)】